教授
小宮 正安
コミヤ マサヤス

大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門
大学院都市イノベーション学府 都市科学部都市社会共生学科(兼担)
komiya-masayasu-bw@ynu.ac.jp

総合人文社会
文化史／地域研究／観光学

文化史／地域研究／観光学

ヨーロッパ文化史
地域研究（オーストリアを中心とする中央ヨーロッパ）
ドイツ語・ドイツ文学
観光・町おこし
芸術社会史

[研究概要]

ヨーロッパ文化史、芸術社会史、地域研究（オーストリアを中心とする中央ヨーロッパ）、ヨーロッパにおけるツーリズムとその応用可能性について

[アドバンテージ]

ヨーロッパをフィールドに、文化（観光、多文化共生等）と芸術（音楽、建築、コレクション等）を、広く社会とのつながりの中で考察してゆくことを心がけています。研究の成果は、テレビ・ラジオへの出演や新聞・雑誌への寄稿、企画展の監修、市民講座等での講演、プログラム執筆等をはじめとして広く社会に発信しています。

[事例紹介]

- 『東京・春・音楽祭　マラソンコンサート〈古典派　～楽都ウィーンの音楽家たち～〉』『同〈変奏曲　～変容する音楽～〉』『同〈ロマン派　～近代に生きた芸術家たち～〉』
- 『狂言風オペラ〈ドン・ジョヴァンニ〉』『同〈魔笛〉』『同〈フィガロの結婚〉』脚本執筆（2006-2014 企画：ヴォイシング）：狂言とオペラの異文化融合を目指した舞台作品で、日本国内をはじめ、2011年にはドイツ各地でも公演がおこなわれました。
- 「ウィーン・フィル・ニューイヤーコンサート2020」「同2019」「同2017」「同2016」「同2007」（NHKテレビ/ラジオ）スタジオ解説
- 『その時歴史が動いた〈音楽の市民革命　～神童モーツァルトの苦悩』（2008年４月　NHK）ゲスト解説

■ 相談に応じられるテーマ

ウィーンやオーストリアを中心とするヨーロッパの文化・芸術・社会に関する知識提供，コンサートや展覧会の企画・解説・ナヴィゲーション，展覧会・展示会のディスプレイ，舞台芸術における異文化交流，文化・芸術・社会関係の日独翻訳，ツーリズムら文化事業に関するアドヴァイス

■ 主な所属学会

日本独文学会
日本ワーグナー協会

■ 主な著書

「ウィーン・フィル　コンサートマスターの楽屋から」 アルテスパブリッシング　2017／11
「コンスタンツェ・モーツァルト〈悪妻〉伝説の虚実」講談社選書メチエ　2017／3
「名曲誕生　時代が生んだクラシック音楽」山川出版　2014／3
「音楽史　影の仕掛人」春秋社　2013／8
「オーケストラの文明史」春秋社　2011／9
「モーツァルトを〈造った〉男　ケッヘルと同時代のウィーン」講談社現代新書　2011／3
「ウィーン　多民族文化のフーガ」大修館書店　2010／3
「愉悦の竜巣　ヴンダーカンマーの謎」集英社新書　2007／9
「ハプスブルク家の宮殿」講談社現代新書　2004／4
「祝祭の都ザルツブルク　音楽祭が育てた町」音楽之友社　2001／8
「オペラ楽園紀行」集英社新書　2001／6
「ヨハン・シュトラウス　ワルツ王と落日のウィーン」中公新書　2000／12

■ 主な地域活動

日本フィルハーモニー交響楽団横浜定期演奏会オーケストラガイド
相模原市観光資源の見直しと課題整理・改善案の検討に関する相模原市からの委託研究